

「資格試験的な利用」の意味することとは

林 篤裕

(名古屋工業大学 社会工学専攻
& アドミッションオフィス)

e-mail: hayashi.atsuhiko@nitech.ac.jp



資料掲載URL: stat.web.nitech.ac.jp/haifu/#Shikaku2106

1. はじめに

- ◆ 入研協 全体会1-2「共通試験の役割再考」(21.05.20)
 - ◆ 「資格試験化」: 石崎規生委員長: 全国高等学校長協会 大学入試対策委員会 委員長
 - ◆ 「資格試験的な利用」: 石原賢一部長: 駿台教育研究所 進学情報事業部 部長
 - ◆ 共通認識があるの?: 講演者間、聴衆間

2. 資格試験との関係

- ◆ 「資格試験」: 民間試験から国家資格まで種々存在
 - ◆ 運転免許試験、司法試験、行政書士試験、医師国家試験、建築士試験、情報処理技術者試験、気象予報士試験等々
 - ◆ 日本漢字能力検定(漢検)、実用数学技能検定(数検)、実用英語 技能検定(英検)、Global Test of English Communication(GTEC)等
 - ◆ 誰でも受験(or 受検)可能
 - ◆ 一部はそれ自身に受験資格を規定(年齢・学習歴等)

2. 資格試験との関係

- ◆ 広辞苑 第7版(第4版とも微妙に異なる)
 - ◆ **資格試験**: 「資格付与の際、それにふさわしい力量を持っているかどうかを調べる試験」
 - ◆ **競争試験**: 「多数の志願者の中から優秀な者を選抜するための試験」 <=== 大学入試
 - 私見「入学後の修学に耐えられるかを判断するための試験」
 - ◆ 「**資格試験的な利用**」: 競争試験に何を追加・削除?
 - ◆ どの様な試験方法? 何からの工夫? 言葉が独り歩き?
- ◆ 具体的な定義や利用方法が判らない
====> 私の浅い見識の中で愚考してみよう

3. 「資格試験的な利用」時に考慮される可能性がある事項

- ◆ 6つの検討事項:
 - A: 高等学校・中等教育学校卒業資格と大学出願の関係
 - B: 有資格者となるための一定基準の判定材料
 - C: 一定基準の公表時期
 - D: 資格の有効範囲
 - E: 受け入れ範囲(有資格者に対する処遇)
 - F: 共通試験のスコア利用範囲(E1、E2のサブ項目)

↓ 実施時刻

====> 表1: 検討事項一覧

A: 高等学校・中等教育学校卒業資格と大学出願の関係
[A1] 従属(自動的に大学に出願可能)
[A2] 独立(共通試験の成績により出願可能)
B: 有資格者となるための一定基準の判定材料
[B1] 共通試験の全科目合計点(例: 900点満点中450点以上)
[B2] 共通試験の一部科目合計点(例: 500点満点中250点以上)
[B3] 共通試験の全科目得点で共通の基準(例: 各科目それぞれ55%以上)
[B4] 共通試験の各科目得点ごとの基準(例: 国語で80点以上、数学Ⅱで45点以上)
C: 一定基準の公表時期
[C1] 出願前
[C2] 共通試験実施後(例: 国語で90点以上 or 各科目それぞれでStanine 4以上)
D: 資格の有効範囲

3. 「資格試験的な利用」時に考慮される可能性がある事項

- ◆ A: 高等学校・中等教育学校卒業資格と
大学出願の関係
 - ◆ [A1] 従属(自動的に大学に出願可能)
 - ◆ [A2] 独立(共通試験の成績により出願可能)
- ◆ 後期中等教育の修得状況を一定程度見極める
 - ◆ 共通試験: 「高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定することを主たる目的」
- ◆ [A2]を実施: 高等学校を卒業したにも関わらず
大学への進学は閉ざされる若者を生む
 - ◆ 「デメリット」と呼ぶべきかは意見の分かれるところ

5

3. 「資格試験的な利用」時に考慮される可能性がある事項

- ◆ B: 有資格者となるための一定基準の判定材料
 - ◆ [B1] 共通試験の全科目合計点
(例: 900点満点中450点以上)
 - ◆ [B2] 共通試験の一部科目合計点
(例: 500点満点中250点以上)
 - ◆ [B3] 共通試験の全科目得点で共通の基準
(例: 各科目それぞれで55%以上)
 - ◆ [B4] 共通試験の各科目得点ごとの基準
(例: 国語で80点以上、数学①で45点以上、...)
- ◆ どの教科・科目 & どの程度のレベル
- ◆ 総合力、特徴的、まんべんなく修得

6

3. 「資格試験的な利用」時に考慮される可能性がある事項

- ◆ C: 一定基準の公表時期
 - ◆ [C1] 出願前
 - ◆ [C2] 共通試験実施後(例: 国語で90点以上
or 各科目それぞれでStanineの4以上)
- ◆ 予め募集要項等に明示: 学習目標を示す
- ◆ 統計量が判明した段階で事後的に確定
 - ◆ プレテストの実施が極めて困難な我が国
- ◆ 基礎的な学習の達成の程度を観る
 - ◆ マージンを取って少し低めに設定
- ◆ 段階表示(Stanine)を用いて示す = 緩やかな指定

7

3. 「資格試験的な利用」時に考慮される可能性がある事項

- ◆ D: 資格の有効範囲
 - ◆ [D1] 特定の学部・学科・コース
 - ◆ [D2] 特定の大学
 - ◆ [D3] 国立大学 and/or 公立大学 and/or 私立大学
 - ◆ [D4] 国公立の全大学
(大学進学希望者は全員共通試験の受験を必須化)
- ◆ [D4]: 我が国の高等教育の質保証に貢献
- ◆ 複数学部で構成された大学: 統一の基準は困難?
- ◆ 学問領域ごと(文学系、教育学系、...、理学、医学系、工学系、農学系等)に全国統一の基準 ↔ 大学の独自性

8

3. 「資格試験的な利用」時に考慮される可能性がある事項

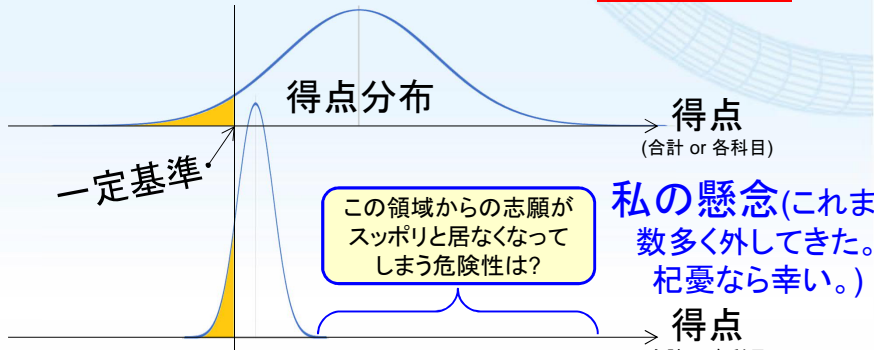
- ◆ E: 受け入れ範囲(有資格者に対する処遇)
 - ◆ [E1] 個別試験を受験可とする
 - ◆ [E2] 志願倍率による制限を設ける
(例: 4倍程度を上限とする。競争試験的利用とも。)
 - ◆ [E3] 全員合格とする
- ◆ 辞書の説明: 「ふさわしい力量を持っている」
 - ◆ 通過者数(合格者数)は不問
- ◆ 定員管理や大学施設の整備状況との関係
 - ◆ 大学教育の質保証
- ◆ 2次試験の均質な受験環境
 - ◆ 運用上の折衷案として志願倍率の上限を設ける

3. 「資格試験的な利用」時に考慮される可能性がある事項

- ◆ F: 共通試験のスコア利用範囲(E1、E2のサブ項目)
 - ◆ [F1] 合否判定に共通試験の得点は利用しない
(個別試験のみを利用)
 - ◆ [F2] 合否判定に共通試験の得点も利用する
- ◆ 試験精度: 測定範囲をより広く採る
- ◆ 時間的にも労力的にも惜しい: 全教科網羅、良問
- ◆ 個別大学で用意している?
 - ◆ 識別力を有した設問で構成された緻密な試験問題
- ◆ 国大協第2常置委員会の意見: 2000年
 - ◆ 「結果を組み合わせ、総合して評価するという方式」
- ◆ 『挽回できる大学』: 2次試験成績のみ

3. 「資格試験的な利用」時に考慮される可能性がある事項

- ◆ 『「一定基準」を提示すること』とは? 受験行動の観点から



- ◆ 「過年度成績の利用」事例からの類推: 静岡大、信州大、...
 - ◆ 「超えていれば良い」、「高得点は要求されていない」、「その点数程度の大学・学部」と捉えられる危険性は?
 - ◆ 共通試験実施後[C2] & 共通試験の得点も利用[F2]なら抑制できる? これで万全かは判らない。皆さんの感想は?

4. 実施例と私案

- ◆ 表2. 資格試験的な利用における検討事項の組み合わせ例

	A 高等学校・中等教育学校卒業資格と大学出願の関係	B 有資格者となるための一定基準の判定材料	C 一定基準の公表時期	D 有資格者の出願可能範囲	E 受け入れ範囲(有資格者に対する処遇)	F 共通試験のスコア利用範囲(E1、E2のサブ項目)
*1 長崎大学 水産学部	[A1]	[B1] (900点満点中450点以上)	[C1]	[D1]	[E1]	[F1]
*2 産業能率大学 全3学科	[A1]	[B2] (500点満点中250点以上)	[C1]	[D2]	[E1]	[F2]
*3 京都大学 文学部	[A1]	[B1] (900点満点中概ね760点以上)	[C1]	[D1]	[E1]	[F2]
*4 大阪大学 医学部医学科	[A1]	[B1] (900点満点中630点以上)	[C1]	[D1]	[E2]	[F2]
*5 立命館大学 情報理工学部	[A1]	[B4] (英語 80%、数学①② 70%以上)	[C1]	[D1]	[E1]	[F2]

[F1]を削除
(古い版には残っている)

- *1: 2021年度一般選抜 前期日程 [45名/110名], [E1], [F2]
- *2: 2021年度一般選抜 未来構想方式 [5名x3学科/810名], [F2]
- *3: 2021年度総合型選抜(特色入試) [10名/220名], 他学部もあり,
- *4: 2021年度一般選抜 [95名/100名], 同様の方策を名古屋大学医学部医学科も,
- *5: 2021年度一般選抜(「共通テスト+面接」グローバルコース方式) [5名/5名(291名)], 同様の方式を経営学部でも採っている,

- ◆ カギカッコ内の数値は前側が当該選抜定員、後ろ側が学部・大学定員を示している。12

4. 実施例と私案

◆ 表2. 資格試験的な利用における検討事項の組み合わせ例

	A	B	C	D	E	F
	高等学校・中等教育学校卒業資格と大学出願の関係	有資格者となるための一定基準の判定材料	一定基準の公表時期	有資格者の出願可能範囲	受け入れ範囲(有資格者に対する処遇)	共通試験のスコア利用範囲(E1、E2のサブ項目)
*6: 2021年度総合型選抜(広島大学光り輝き入試) [10名/157名],		[B1]	[C1]		[E1]	[F2]
*7: 2020年度AO入試 [32名/130名],				[D2]	[E1]	[F2]
*8: 2020年度一般選抜 [930名/1028名]。2021年は変更。					[E2]	[F2]
*6と*7は個別学力試験を先に実施し、その後共通試験の基準点以上の得点を求めている。						
*6 長崎大学 教育学部	[A1]	[B1] (900点満点中概ね600点以上)	[C1]	[D1]	[E1]	[F2]
*7 島根大学 教育学部	[A1]	[B2] (3教科配点合計の55%以上)	[C1]	[D1]	[E1]	[F2]
*8 東京工業大学 全学院	[A1]	[B1] (950点満点中600点以上)	[C1]	[D2]	[E1]	[F1]
*9 林私案	[A2]	[B3]	[C2] (or [C1])	[D4]	[E2] (E3) (授業前)	[F2]

- ◆ カギカッコ内の数値は前側が当該選抜定員、後ろ側が学部・大学定員を示している。13

4. 実施例と私案

◆ 表2. 資格試験的な利用における検討事項の組み合わせ例

	A	B	C	D	E	F
	高等学校・中等教育学校卒業資格と大学出願の関係	有資格者となるための一定基準の判定材料	一定基準の公表時期	有資格者の出願可能範囲	受け入れ範囲(有資格者に対する処遇)	共通試験のスコア利用範囲(E1、E2のサブ項目)
*1 長崎大学 水産学部	[A1]	[B1] (900点満点中450点以上)	[C1]	[D1]	[E1]	[F1]
*2 産業能率大学 全3学科	[A1]	[B2] (500点満点中250点以上)	[C1]	[D2]	[E1]	[F2]
*3 京都大学 文学部	[A1]	[B1] (900点満点中概ね760点以上)	[C1]	[D1]	[E1]	[F2]
*4 大阪大学 医学部医学科	[A1]	[B1] (900点満点中630点以上)	[C1]	[D1]	[E2]	[F2]
*5 立命館大学 情報理工学部	[A1]	[B4] (英語 80%、数学①② 70%以上)	[C1]	[D1]	[E1]	[F2]
*6 広島大学 教育学部	[A1]	[B1] (900点満点中概ね600点以上)	[C1]	[D1]	[E1]	[F2]
*7 島根大学 教育学部	[A1]	[B2] (3教科配点合計の55%以上)	[C1]	[D1]	[E1]	[F2]
*8 東京工業大学 全学院	[A1]	[B1] (950点満点中600点以上)	[C1]	[D2]	[E1]	[F1]
*9 林私案	[A2]	[B3]	[C2] (or [C1])	[D4]	[E2]	[F2]

2021年度
2020年度

5. 登壇者への質問

- ◆ 石崎規生氏に対して (全国高等学校長協会 大学入試対策委員会 委員長)
- ◆ 感謝: 1980年代以降の経緯を丁寧にとまとめてくださり
 - ◆ 挙げておられた「資格試験化」は今回取り上げた「資格試験的な利用」とは別の概念なのか?
 - 具体的にはどのような利用方法について要望されてきたか
 - ◆ 2000年の大学審議会答申よりも前の時点から要望されて来たことから想像すると、貴協議会では古くから多角的に検討を重ねて来られたとも考えられ、その過程でどのような議論があったのか?
 - ◆ 途中からは要望事項の方向性が変わったようにも感じられ、それらの理由や経緯を含めてご紹介いただければ今後の議論に資することができ非常に参考になる

4. 実施例と私案

- ◆ 実施大学: それぞれに工夫を凝らして実施
- ◆ 当該大学の置かれている立場や選抜性の高低との関係も感じられる
- ◆ 他の大学: 全く同じ方式 ≠ 同様の選抜効果
- ◆ 【FYI】 検索に関して: 丹念な調査が必要
 - ◆ 「資格試験的な利用」という呼称で取り扱われていない
 - ◆ 概して選抜単位も小さい

5. 登壇者への質問

- ◆ 石原賢一氏に対して (駿台教育研究所 進学情報事業部 部長)
 - ◆ 資料中「個別試験受験者の絞り込み」ということは足切りをイメージされている? 表1の[E2]?
 - ◆ 高大接続の実際を高校側・大学側の双方の視点で長年緻密に観察して来られたご経験から
 - ◆ 「資格試験的な利用」のどのような利用方法が今後の高大接続、我が国の教育界に光を見出せると考えておられるのか
 - ◆ 夢や希望をお聞かせいただければありがたい

17

6. 終わりに代えて

- ◆ 「資格試験的な利用」
 - ◆ 1点(未満)の点差で合否が分離されることへの疑念
- ◆ 今回: 検討事項は6項目
 - ◆ 組み合わせ総数は320通り(2x4x2x4x5)
 - ◆ これで尽くしたことになるのか?
 - 例えば: 実施時期を表現しようとすると、プラス1項目
- ◆ 高校関係者、予備校関係者、大学関係者
 - ◆ 思い描く「資格試験的な利用」
 - 特定の一つ? それぞれに異なる? 私の思案の外側?
 - 生産的な議論のために

18

6. 終わりに代えて

- ◆ 修得主義が徹底・実効化＝「出口管理の国」
 - ◆ 小学校・中学校・高等学校、そして大学
 - ◆ 入試には現在のような厳密さを求める必要がない
 - ◆ 僅かな点差での合否状況は緩和されるのではないか
- ◆ 新たな検討材料:
 - ◆ 定員管理の取り扱い
 - ◆ 共通試験の作題方針
 - ◆ 中退者の処遇等

19

6. 終わりに代えて

- ◆ 世界と伍していける若者を輩出する環境の整備
- ◆ 全教職員がアイデアを出し合ってより良い方向に主体的に改革して行く
- ◆ 多角的なご指摘・ご意見を
 - ◆ 私の思い込み
 - ◆ 大きな誤認や認識不足、不勉強、誤った言説
 - ◆ 重要な事項が抜け落ちてしまっている危険性
- ◆ このような機会を与えていただき感謝

20

4. 実施例と私案

- ◆ 表2. 資格試験的な利用における
検討事項の組み合わせ例

	A	B	C	D	E	F
	高等学校・中等教育学校卒業資格と大学出願の関係	有資格者となるための一定基準の判定材料	一定基準の公表時期	有資格者の出願可能範囲	受け入れ範囲(有資格者に対する処遇)	共通試験のスコア利用範囲(E1、E2のサブ項目)
林私案	[A2]	[B3]	[C2] (or [C1])	[D4]	[E2] [E3] (将来的に)	[F2] ---

- ◆ 私案: 出口管理の国 ==> 履修主義から修得主義へ
 - ◆ [D4][E3]を念頭に緩やかな[A2]
 - ◆ [B3]: まんべんなく学んでほしい (or 1科目だけなら基準以下でも可?)
 - ◆ 手始めは[D3=国立大学]か?

21

4. 実施例と私案

- ◆ 私案: 「出口管理の国」
 - ==> 履修主義から修得主義への移行
 - ◆ 多方面から議論を呼ぶことが容易に想像
 - ◆ 一朝一夕に実現できるものではない
 - ◆ せめて国立大学だけでも導入する手がある?
 - でも、各大学の独自性は?
 - ◆ 新たな検討事項も少なからず出現する
 - ◆ 高卒資格を有しているにも関わらず大学には出願できない層
 - ◆ 出口管理 == 高校中退や大学中退の処遇
 - ◆ これらを包括的に許容する社会構造に変革・醸成

22